

地震発生 8:30 緊急地震速報 8:29

Point

☑ 倒れそうな家具や家電がないか確認する
※身を守る行動がとれないほどの強い揺れをふだんからイメージし、家の中の危険箇所などの対策をしてください。



震源が富士市に近い場合、緊急地震速報が間に合わないことがあります。次の取組を通して、地震に備えましょう。

「訓練、地震発生（繰り返し）（サイレン）」

Point

☑ 防災ラジオ・携帯電話などで緊急地震速報を確認する
☑ 実際に机の下など危険を避けられる場所に行つて、頭や身を守る
※ガスの自動遮断装置が普及しています。強い揺れの最中に、無理をしてガスコンロの火を消しに行く必要はありません。

訓練の流れ

「訓練、地震です。訓練、地震です。強い揺れに警戒してください（繰り返し）」

安否確認の方法を再確認しましょう！

様々な自主防災活動の中で最初にするべきことは、住民の「安否確認」です。町内会・区がすぐに安否を確認できるよう、ポイントを確認しましょう。

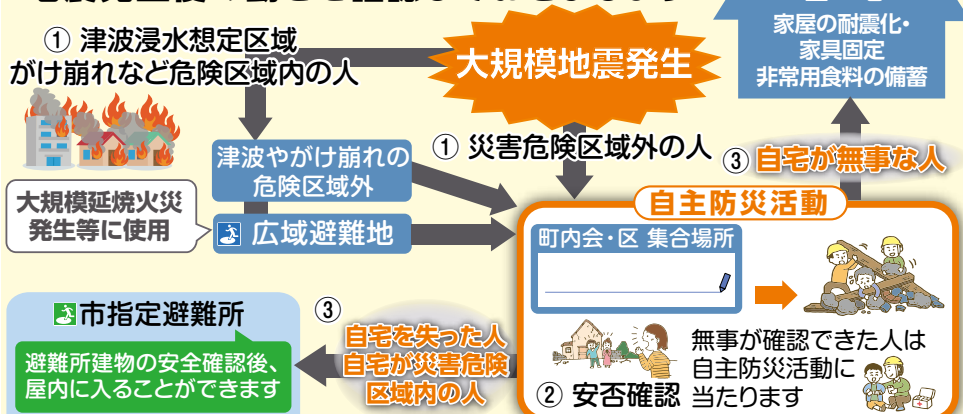


- ☑ 安否の報告先や報告方法を事前に確認する
- ☑ 世帯構成をまとめた名簿（安否確認シート）を事前に準備する
- ☑ 「無事な人」が本人や家族の無事を報告する

安否確認シートはこちら▶



地震発生後の動きを確認しておきましょう！



大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災を教訓として、9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」と定められています。今年の9月1日も、南海トラフ地震が発生したことを想定し、市内全域で防災訓練を実施します。当日は、同報無線で訓練広報を行います。この機会に、自宅などの安全対策に加え、安否確認の方法や避難の流れを確認しましょう。

災害への備えは ふだんの生活から

9月1日（火）は、富士市総合防災訓練



問合せ／防災危機管理課 ☎ 0545-55-2715 FAX 0545-51-2040
E bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp

津波避難対象区域に避難指示を発令

Point

※防災訓練の同報無線は、災害のときと同じ順番で放送します。

- ☑ 組・班単位で安否確認を行い、町内会・区の集会所や本部に報告する
- ☑ 町内会・区の自主防災活動（防災訓練）に参加する
- ※9月1日以外に実施する町内会・区があります。また、訓練の内容は、町内会・区によって異なります。

安否報告・自主防災活動への参加

Point

- ☑ 津波避難対象区域や急傾斜地（がけ）の近くに住んでいる人は、避難目標地点に避難する
- ☑ 通電火災に備え、ブレーカーを落とす
- ☑ 家族の安否確認（けががないかなど）を行う
- ※防災週間（8月30日～9月5日）中は、被災後の安否確認を行う「災害伝言ダイヤル（☎177）や、インターネットを利用した「災害用伝言板（web177）」の体験利用ができます。ぜひ、お試しください。



▲詳しくはこちら

「サイレン」訓練、大津波警報が発表されました。海岸付近の方や津波避難対象区域の方は、高台に避難してください（繰り返し）

Check!

私の家の安全対策

大きな地震の後でも、住み慣れた自宅で生活をするために、対策をしておきましょう

非常用備蓄品の準備

水・食料、トイレは7日分以上の備蓄をお願いします。

一人分の目安(7日分)

☑ 飲料水



1日3リットル

7日で21リットル

☑ 食料



1日3食

7日で21食

☑ 携帯トイレ



1日5回分

7日で35回分

ローリングストック法(回転備蓄)で！

日常使う食料品を少し多めに買い置きして、消費した分だけ補充していく方法。古いものから先に使うように収納しておく、うまく循環できます。

家具類の転倒防止

今までに起きた地震では、家具の転倒や落下、ガラスの破損などで多くの人がけがをし、命を落としました。災害が起きたときをイメージして、自宅の危険な場所の対策をしましょう。

例えば…こんなところをチェック！

- ☑ リビングやキッチンの家具を固定しているか
- ☑ 布団やベッドの近くに大きな家具を置いていないか
- ☑ 窓ガラスが飛び散らないように対策できているか

自分で固定できない人は

富士市では、高齢者や障害者などの世帯を対象に「家具固定推進事業」を実施しています。防災危機管理課または各地区まちづくりセンターで申込みができます。



▲詳しくはこちら

富士市防災アプリで、わが家の災害リスクを確認しましょう！

富士市防災アプリ「防災ふじ」の地点検索機能は、地図を長押しすることで災害リスクを一覧で確認できます。災害から身を守るためには、自宅など身近な場所の災害リスクを事前に確認することが大切です。

そのほかにも、防災アプリには様々な機能が備わっています。防災アプリを活用して、適切な避難行動につなげましょう。

富士市防災アプリ



▲詳しくはこちら

①防災マップを選択



②調べたい場所を長押しすると



③その場所の災害リスクが分かる

